

# 市内最高齢2人祝福

112歳・和田とめをさん

女性

104歳・渡邊 建治さん

男性

三木市は17日、市内最高齢の男女2人に祝福の花を贈った。女性は112歳の和田とめをさん、男性は104歳の渡邊建治さん。ともに大正生まれで、昭和、平成、令和と激動の時代を生きてきた。家族や関係者は感謝と尊敬の思いを届けた。

厚生労働省の発表では、全国の100歳以上の高齢者が初めて10万人を超え

た。8月末の調査によると、三木市内では81人となっている。

2人は同市大塚の特別養護老人ホーム「えびすの郷」で過ごす。真杉佳憲施設長は「元気な高齢者が増える中、同じ施設で市内男女最高齢の2人がそろって祝福されるのは誇らしい」と胸を張った。

和田さんは男女合わせて5年連続の市内最高齢者。

112歳の和田とめをさん(右)と104歳の渡邊建治さん。三木市大塚



金色のくす玉を割って記念品を受け取ると、四男の志朗さん(77)らの歓談を楽しんだ。かつてナメラ商店

と。家の中でけんかするよ

6歳以上の高齢者の割合が、インフルエンザと新型コロナウイルスの定期予防

00円、新型コロナは4500円。接種費用の約7割

うではあかんよ」と話し、周囲を笑顔にした。

2年連続で市内男性最高齢の渡邊さんは本町出身。戦時中には関東軍の少尉として満州(現中国東北部)に赴き、シベリア抑留も経験した。復員後、語学力を生かして三木金物の輸出に尽力した。耳が遠く、筆談で意思疎通を図る毎日。欠かさず新聞を読み、充実した生活を送っているという。おいの雅也さん(67)は「筆談で間違つと今も指摘してくれます」と話していた。(大山伸一郎)